|  |  |
| --- | --- |
| 受理番号 |  |
| 受理年月日 |  |

(事務局使用欄：Official Use)

高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所

2025年度後期ミュオン共同利用S1/S2型実験課題申請書

Application form for S1/S2 type research project

物質構造科学研究所長　殿

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| To Director of Institute of Materials Structure Science | 申請日 | 　　　 | 年 | 　　 | 月 | 　　 | 日 |  |

|  |
| --- |
|  |

０）　実験代表者情報　[ Information of principal investigator ]

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| E-Mail | ： |  |
| 氏名　Name | ： |  |
| 所属機関・部局　Affiliation | ： |  |
| 職名 Status  | ： |  |
| 住所 Address | ： |  |
| 電話 Tel  | ： |  |
| ファクス Fax | ： |  |

|  |
| --- |
|  |

1）　基本情報　[ Basic Information ]

 i) 実験課題の種類 [ Type of project]　　　S1型 [ Type S1 ] □ / S2型 [ Type S2 ] □

ii) 実験課題名 [ Title of project]

|  |
| --- |
| 日本語（in Japanese） |
| 英語（in English） |

iii)　研究の概要 [abstract]（500字以内）

|  |
| --- |
|  |

　iV) 実験課題の審査状況[Status of evaluation]

　　　一次審査（1st Stage Approval）採択Approved □/ 延期Deferred □/ 却下Rejected □

　　　二次審査（2nd Stage Approval）延期Deferred □/ 却下Rejected □2)　　研究組織

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 実験代表者 | 氏名 | 所　属部　局職 | 現在の専門学　　　位役割分担 |
|  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 合計　　　名 |

（ページが不足の場合は追加して記入ください。）

3）　　研究目的

　本欄には、研究の全体構想及びその中での本研究の具体的な目的について、冒頭にその要旨を記述した上で、適宜文献を引用

しつつ記述し、特に次の点については、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。特に、一次採択されている課題に

ついては、前回審査のコメントで指摘された事項への対応状況を記述して下さい。

①　研究の学術的背景（本研究に関連する国内・国外の研究動向及び位置づけ、応募者のこれまでの研究成果を踏まえ着想に

至った経緯、これまでの研究成果を発展させる場合にはその内容等）

②　研究期間内に何をどこまで明らかにしようとするのか

③　当該分野における本研究の学術的な特色・独創的な点及び予想される結果と意義

研究目的（つづき）

（ページが不足の場合は追加して記入ください。）

4) 　　研究計画・方法

　本欄には、研究目的を達成するための具体的な研究計画・方法について、冒頭にその要旨を記述した上で、2025年度後期-2026年度

前期の計画と2026年度後期以降の計画に分けて、適宜文献を引用しつつ、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。

ここでは、研究が当初計画どおりに進まない時の対応など、多方面からの検討状況について述べるとともに、研究計画を遂行するため

の研究体制についての具体的な役割（図表を用いる等）及び学術的観点から研究組織の必要性・妥当性及び研究目的との関連性に

ついても述べてください。特に、一次採択されている課題については、前回審査のコメントで指摘された事項への対応状況を記述して

ください。

研究計画・方法（つづき）

（ページが不足の場合は追加して記入ください。）

5)　　　必要なビームタイム

　本欄には、使用するビームライン、実験エリアごとに、実験に必要なビームタイムを記述してください。また、その妥当性・

必要性・積算根拠についても実験計画の内容を示しながら具体的に記述してください。

|  |  |
| --- | --- |
| ビームライン | D1 □　　　D2 □　　　U □　　　S □　　　H □　 |
| ビームタイム | 2025年度後期　　　　日　　2026年度以降　　　　　日 |

（ページが不足の場合は追加して記入ください。）

6) 　施設側で必要とされる支援

　本欄には、実験計画遂行に際し、ミュオン科学実験施設側で必要とされる支援（ビームライン高度化、特殊試料環境、特殊実験

装置の導入、液体ヘリウム等消耗品の供給など）について、具体的に記述して下さい。また、その必要性の根拠についても記述して

ください。（なお、共同利用実験旅費については記載の必要はありません。）

（ページが不足の場合は追加して記入ください。）

7) 　　実験組織

本欄には、本研究を実施する上での共同実験者とそれぞれの役割、特に装置の建設、開発とこれを用いた利用研究支援の体制を

含めて具体的に記述してください。一次採択された課題については、共同実験者のエフォート率についても明示して下さい。

（ページが不足の場合は追加して記入ください。）

8) 　研究経費の概算と内訳

　本欄には、「研究計画・方法」欄で述べた研究規模、研究体制等を踏まえ、研究経費の概算と内訳を記述してください。また、その

妥当性・必要性・積算根拠についても記述してください。一次採択された課題については、研究経費を支弁する具体的な見通しについ

ても記述して下さい。

（ページが不足の場合は追加して記入ください。）

9) 　　実験代表者の発表論文リスト

（ページが不足の場合は追加して記入ください。）